

「住みよいまちづくり」に向けた集い  
令和元年度第5回定例会（第17回）報告  
（応急担架の作り方・搬送体験）

日 時 令和元年12月15日（日）午前10時～正午  
場 所 多摩の里 けやき園1階 地域交流スペース  
参加者 23人  
〈地区住民16名〉  
〈関係者4名〉多摩の里けやき園、福祉総務課、  
西部地域包括支援センター  
〈社協3名〉大櫛主査、岡野主査、江連  
配布資料 (1) 次第  
(2) 応急担架によるけが人の搬送  
(3) 第2回 弥生地区秋まつり 活動報告

1 災害時に配慮が必要な方への支援「応急担架の作り方・搬送体験」

（東久留米消防署より、午前10時～11時10分）

【YouTube動画にて限定公開（28分59秒）】



URL : <http://bit.ly/emstretcher>

YouTube動画QRコード

2 自己紹介

3 第2回秋まつり活動報告と今後（各係から感想、反省） 記録：瀧田 敬称略

- ・山口（取りまとめ役）：事前の打ち合わせを何度かやった方が良かった。地域的な面で近隣小平市の住人との協力も必要か。高齢者の生きがいの場にもなったら良いと思う。
- ・佐々木（取りまとめ役）：たくさんの人の参加があり良かった。協力しあって、つくるところから関わってやって、良かったと感じられることが良い。残金の保管の方法を考え中。個人の名が発行しやすいので通帳を作りたいと思う。何か良い案があれば。⇒残金は、佐々木智恵子さん名義で通帳を作成し管理するとのこと。
- ・小西（受付）：係、関係者等の参加費100円徴収で少しトラブルがあった。その判断がその場では難しかった。社協から頼まれているからなどの理由で払わないとのことだったが、その後は支払われた。
- ・江連（社協）：受付担当より、受付表の項目に自治会名は必要ないのではないかとの指摘があった。今回は、備考欄に小学校何年生など記録されていたので、参加した子どもの学年も把握できた。弥生は小平市の隣接地区であり、小平市の小学校に通う子どもたちもいる。協賛金は自治会から集めており、自治会員以外に使われるのはどうかとの意見もあるかと思う。特殊な地域性を勘案しなければならないか。今後どうするか検討していくことや相互理解が必要か。
- ・榎本（飲食）：今回フライドポテトは初めてだったが、準備の大変さやアンケート結果から来年度は違うものが良いと思う。

- ・江連 (社協) : アンケートでフランクフルトは「良かった」の1位になっている。
- ・内田 (飲食) : フランクフルトの下準備をした。近隣小平市の住民にもチラを配った。日頃近隣である小平市の住民と協力し合って生活している現状がある。子どもたちも隔てなく助け合って生活しているということを自治会には理解してほしい。
- ・杉本 (ぶんぶんゴマ) : 「ぶんぶんゴマ」というものを若い母親は知らないとのことだった。教えることができてよかった。⇒内田 : 杉本さんは毎年自前で全て準備をしてくれていることを報告したい。
- ・斎須 (射的) : 足を引っ張らないようにやってきた。無事終わって安堵している。
- ・藤澤 (射的) : 射的の係はやり続けて現状維持していきたい。こうした活動は積み重ねが大切と思う。地域の理解を年々深めていきたい。長いスパンで見ていくことが必要と思う。徐々に若い世代が継いでいくこともある。やって下さいと言うのではなく、参加してもらって、楽しくやっていきたいと感じてもらえることにつながるのではないかと。⇒江連 : 中学生の参加があった。小学校高学年以上は担い手としても協力を求めて巻き込んでいけると良いのではないかと。
- ・中場 (魚釣り) : 子どもたちが遊べて良かった。自分の方が遊ばせてもらった。今まで近所で会っても挨拶しなかったが、このイベントで顔を合わせてからは、自分から挨拶するようにしている。
- ・矢野 (射的) : 初めて参加した。輪投げなど大人の昔の遊びだったが、子どもの意見を聞いて考えていけると良いのではないかと。
- ・喜村 (進行) : 進行は順調にできた。いろいろなところに目を配らなければならないので神経は使った。おばあちゃんから孫まで家族7人で参加してくれたのが感激だった。
- ・和田 (飲食) : 子どもが多かったなので、今後はお茶などではなく子どもが好きな飲み物を充実させたい。
- ・宮川 : 近所付き合いとして、隣近所で誘い合ってくるということが少なかったのも、まだ浸透していないのかもしれない。参加してみて盛況だった。施設の地域交流スペースの有効利用はもっと考えられるのではないかと。けやき園への経費はどうか心配。住民には自治会に入ってもらいたい。誰がどこでお世話になるか分からないので、顔見知りになることは必要ではないかと。
- ・金井島 (けやき園) : 入居者5名が参加した。地域との交流があった。面会者の参加もあった。車いすの利用者が煙体験の説明を受けている際に、車いすから降りて体験したらどうかと言われ、配慮が欠けているのではないかと意見があった。地域の人との交流が良いと入居者家族からの声も。参加した最高齢の利用者は102歳。
- ・江連 (社協) : 会場提供から各種備品の貸し出しまで、細部まで施設側の協力があった開催ができていることを感謝している。次回の定例会は2月16日(日)で来年度の定例会の運営について話し合う。今年同様であれば、秋まつりは4月から話し合いをしてすすめていく予定。
- ・野島 (地域包括) : 介護予防に関するイベント情報
- ・明日 (東久留米市) : 日本赤十字から、自主防災セミナーを開催すると応急担架と防災グッズがもらえる可能性がある。次回に明確な情報が提供できればと思う。

以上